



大樹のこころ

仮設校舎

新年、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。希望に満ち溢れた2024年、令和6年が始まりました。良きスタートと言いたいところですが、1月1日には能登半島地震が発生し、甚大な被害が出てしまいました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、大樹寺小学校では、今学期から約1年間にわたる中校舎の大規模改修が始まります。工期は3期に分けて行われますが、第1期に改修される「職員室」「校長室」「放送室」などが仮設校舎に引っ越ししました。引っ越しと言葉で言えば簡単ですが、これが大作業。12月2日に150周年記念式典が終了してから、学校は一気に引っ越しモードとなり、荷造りなど数日にわたる職員作業が行われました。そして冬休み、12月26日の引っ越し日。業者の方や先生方が、終日に渡り引っ越し作業に追われ、何とか無事に完了することができました。

引っ越しするのは部屋だけではありません。駐車場が資材置き場となり工事事務所が設置されるに伴い、運動場東側へ移ることになりました。閉鎖されていた南門が入り口となる仮設駐車場が作られました。これまでの駐車場については一部の職員6台分と来客用の7台分だけが利用可能となり、仮設駐車場は教職員が使用するものとなります。保護者の方が駐車場を利用する場合は、従来通りの場所で結構ですが、スペースが少なくなっていることをご理解いただきたいと思います。

職員室が仮設校舎に移ったということで、不便な点もあります。先生方が教室に行く場合、一度体育館に降りて、体育館と校舎をつなぐ地下通路を通っていかなくてはなりません。頭でイメージしていたのとは違い、結構距離を感じてしまいます。職員室に用事がある子供にとっても、違和感があるのではないかと思います。

しかし悪い点ばかりではありません。仮設と言っても「新校舎」です。職員室も広々としており快適です。壁面は掲示物を画鋲で留めるのではなく、すべてマグネットです。水道はレバー式なので、簡単に蛇口を止めることができます。低学年の子は握力が弱く蛇口を締めるのが苦手ですが、その問題もクリアできそうです。何より、新しい環境を前にして、先生方が明るくなっているのを感じます。何だか良い1年になりそう、そんな気がしています。



ロサンゼルス・ドジャーズの大谷翔平選手から、グローブのプレゼントが届きました。始業式で紹介すると子供たちは大喜び。大谷選手のように夢を追いかけていきたいですね。大谷選手、ありがとうございます。